

会議名 第4回教育委員会臨時会議事要録

詳細 教育委員会教育総務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称		教育委員会臨時会
事務局(担当課)		教育委員会教育総務課
開催日時		平成18年4月25日 午後2時00分
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	中島 章皓(委員長)、月岡 透(委員長職務代理者)、 松木 正一、三神 和子、日高 芳一(教育長)
	その他	教育委員会事務局次長、教育委員会教育総務課長、 学校運営課長、教育改革推進課長、教育指導課長、 中央図書館長、統括指導主事
	事務局	教育委員会教育総務課庶務係長、教育委員会教育総務課庶務係 主査、
公開の可否		公開 傍聴人数 1人
非公開・一部公開の 場合は、その理由		
会議次第		1. 報告事項 感染性胃腸炎発生について 2. 第24号議案 豊島区教育委員会公印規則の一部改正につい て 3. 協議事項 豊島区新教育ビジョン(仮称)の策定について 4. その他

審議経過

委員長)

第4回教育委員会臨時会を始めます。本日の署名は三神委員と松木委員にお願いいたします。

報告事項第1号を先に審議したいと思います。

(1) 報告事項第1号 感染性胃腸炎発生について

< 学校運営課長 資料説明 >

委員長)

ご意見ご質問お願いします。

池袋第一小と朋有小はかなり離れているので同じ児童館を使っているということはないですね。

委員)

皆無とは言えないと思います。

学校運営課長)

東池袋児童館も利用しています。ここからも症状が出たという報告があり対応しています。豊成小から今後発生することも予想されます。

委員)

今後広がる可能性もあるかと思います。予防策はありますか。

学校運営課長)

人を介して感染していくのでよく手を洗うこと、下痢や嘔吐をした場合、塩素系の洗剤での洗浄を徹底することです。4月20日に全学校へ通知し保護者へも予防策を周知しました。

委員長)

他はよろしいでしょうか。

(委員 報告事項了承)

(2) 第24号議案 豊島区教育委員会公印規則の一部改正について

< 教育総務課長 資料説明 >

委員長)

ご意見ご質問お願いします。よろしいでしょうか。

(委員 意義なし)

委員長)

次の協議事項はその他の「隣接校選択制の意義及び現状の課題」とも合わせて審議をお願いします。

(3) 協議事項第 1 号 豊島区新教育ビジョン(仮称)の策定について

< 教育改革推進課長 教育総務課長 資料説明 >

委員長)

傍聴の申込があります。よろしいでしょうか。 (委員 異議なし)

案件について、ご意見ご質問をお願いします。

次長)

今後5年の中期計画としてのビジョンを立てるにあたり、平成18年度教育課題検討推進委員会で話し合う前に、委員のみなさんからご意見を伺いたいと思います。そのご意見を参考にして教育課題検討推進委員会を進めたいと考えています。

委員)

特色ある教育の推進が隣接校選択制の意義のひとつでしたが、なかなかうまくいっていません。隣接校選択制を導入しても、各学校がきちんと教育をしていれば結局は一番近い地元の学校を選ぶことになるだろうと思い、この制度に賛成しました。しかし、実際には偏りがあり好ましくありません。豊島区の教育を考えるにあたり検討が必要だと思います。例えば、校庭の狭い小規模校の場合、運動はなしにして勉強に特に力を入れる進学校にするというような極端な発想はできないのでしょうか。各学校がもっと個性的な特色をもつようになれば学校選択制が活かされると思います。

委員)

目白小の児童数610名は学校として多すぎるのでしょうか。

教育長)

多すぎるということはありません。

委員)

小規模校を保護者が好ましくないと考えているのであれば、隣接校選択制を利用して規模の大きい学校へ行ったり、経済力のある家庭の子どもは私立学校へ行ったりすることになるでしょう。残った子どもが小規模校へしか行けなくなってしまいます。規模の大きい学校を選択する傾向があり、そのことが、通学区域の児童が減少している学校の小規模化をさらに加速させているととらえるよりも、ある程度の規模の学校へ行かせたいと考える保護者が多いのであれば、行政はその需要に対してどうすれば応えることができるか考えるべきではないでしょうか。保護者の経済力に関係なく教育を受けることができるようにすることが大事だと考えています。都立高校の改革も成果が現れてきています。保護者の要望をもっと取り入れていけば区立中学校に子どもたちを呼び戻すことができると思います。スポーツや芸術も子どもの頃からの教育が求められているようなので、公立学校でもそちらの分野に力を入れる学校を作るなどの特色を持たせてもいいのではないのでしょうか。

委員)

隣接校選択制の抽選で落選するかもしれないと思えば、保険として私立学校を受験し、合格すればそちらへ行ってしまいうことも多いと思います。

委員)

特色づくりは短時間でできるものではなくお金もかかるものですが、財政が苦しい豊島区では時間をかけるしかないと思います。教員がそのことを認識するように区全体として方向づけする必要があると思います。将来働く子どもを育てるために必要なものを身につけさせなければなりません、今一番欠けているのは教科外の学習です。部活動などの場で自信をつけたり、授業の中で身につけられなかったことを培ったりすることができるのです。その面での学校、教員の努力が足りないと思います。教員の育成も重要な課題です。また、各学校で全ての子どもが必ず到達すべき学力達成度をもうければ教員ももっと頑張ると思います。

委員)

英語は子どもによって学力差が大きくなる教科です。能力別のクラスを作ることができないでしょうか。基本をきちんと教えるクラスをつくと同時に英語が好きな子ども、できる子どもの力を伸ばしてあげたいと思います。教科書にも初歩に忠実なもの、エリート教育的なものがあります。教科書も別のものを使って指導することを考えてもいいと思います。

委員)

ある程度の規模がないと能力別クラスをつくれなと思います。各学校の中でクラス分けを考えるだけでなく、区全体で学校ごとに分けることも可能ではないでしょうか。

教育長)

保護者に感謝の気持ちがありません。新聞で報道されていましたが、自分たちが給食費を払って食べているのにどうして「いただきます」と言って食べなければいけないのかという考えがあります。教員の高い給料を自分たちが払っているのだから分かるまで最後まで教えるのが当然だという発想。ここに大きな間違いがあると思います。教員ががんばっていること、子どもたちの活躍をどんどん宣伝してその発想を転換していくことも私の仕事だと思っています。

委員長)

ビジョンの策定の前提として教員像、学校像を明確にしてほしいと思います。

委員)

宿題が少なくなってきたこと、家庭教育の力の低下なども問題だと思います。

教育改革推進課長)

今年度1学期中に意向調査を実施する予定です。少人数指導、習熟度別指導、部活動などについても質問したいと思います。

委員)

私立学校へ行く理由についてもぜひ質問してください。

委員長)

今後も継続して審議していきますので今日はここまででよろしいでしょうか。

(委員 協議事項了承)

(4) その他

平成18年度区立幼稚園、小・中学校行事一覧(4月24日現在)

(午後5時30分 閉会)